

### 第3章 中央本線（松本～甲府）

#### 第1節 7月23日（土）：諏訪湖一周（上諏訪～岡谷）

上諏訪(3:50)～下諏訪(6:00)～岡谷(9:47)

第18回わいわい会は、2005年7月23日（土）、青春18切符を活用して、周囲16Kmの諏訪湖を一周（上諏訪駅から反時計回りで上諏訪駅まで）。なお、観光案内によると、諏訪湖は水深4m、海拔759mとのことである。会社から帰宅後ゆったり風呂に入り、自宅を22時10分に次男に南林間駅まで送ってもらい、八王子駅を目指す。町田駅から橋本駅まで盲導犬と出くわす。市川駅以来2回目である。7月22日（金）、JR八王子駅に、福家さん、坂本さん、谷本さん、大崎さん、桑島さん、溝縁さん、藤本さん、貝出さん、木下さん、宇賀神さん、樫原の11名が23時30分集合。その他、森さんが上諏訪駅で、鶴巻さんが岡谷駅で合流する運びで、参加メンバーは都合13名であった。



左上：上諏訪駅 右上：下諏訪駅 左下：ラジオ体操公園前 右下：岡谷駅

7月23日0時になって、ムーンライト信州81号（白馬：快速）に乗車するため、八王子参加メンバーがJR八王子駅の改札口を通過する。この車両の自由席はなく、全席指定席のため、谷本さんに指定席を取っていただく。青春18切符は、5枚綴り（11,500円）の一日定期券のようなもので、同一日付であれば乗り降りが自由でどこまでも行ける。今回のわいわい会は、この青春18切符のセールスポイントを最大限に活用して臨んだ。電車は

0 時 40 分の定刻時間を数分送れて入場する。上諏訪駅には予定時刻を数分遅れて 3 時 50 分頃着く。車中は 3 時間位のため、仮眠程度になった。途中小淵沢辺りで車中の窓から雨に出会ったが、幸い上諏訪駅に到着したときは、雨は降っていなかった。1 週間前から茅野の別荘に滞在していた森さんが、上諏訪駅まで私達を出迎えに来て頂く。予定では、上諏訪駅で 6 時位まで小休止してからウォーキングを開始することになっていたが、生憎駅施設はクローズであり、使用できず、休憩せず下諏訪駅を目指すことにする。4 時前からのウォーキングは初めてである。辺りは真っ暗であった。

夜明け前の上諏訪駅をカメラに収め、いよいよウォーキング開始である。数年前に諏訪に訪れた際、諏訪湖一周のつたい歩きを近々実現したいと考えていたのが、やっと本日実現となった。諏訪湖の畔には 4 時 10 分頃到着。潮騒と違い、沼くさい匂いが辺り漂う。夜明け前の 5 Km 位先にある対岸の岡谷市の灯りが、印象的であった。遊歩道を通り、下諏訪駅を目指す。4 時半頃になると徐々に夜が明けてくる。空は曇り空であった。4 時 50 分、上諏訪と下諏訪の間辺りにあるセブンイレブンに入り、朝飯を購入し、諏訪湖の湖畔で 20 分位小休止をする。参加メンバー全員が寝不足で疲れた感じであったが、食事後元気を取り戻す。500m 位諏訪湖をつたい歩き後、ジャスコの看板を目印に右折し、中仙道沿いにある下諏訪駅を目指す。鉄道つたい歩きのため、下諏訪駅をカメラに収めることとトイレ休憩をするためであった。6 時に下諏訪駅に到着する。下諏訪駅は駅前の樹木が印象的に残る駅であった。ここで、万歩計が前回のウォーキングの記録がクリアしていないのに気づき、0 クリアする。修正前は 88,800 歩位であった。20 分位休み、駅前で記念写真撮影後、岡谷駅に向かう。本来ならば、この駅で 1 時間位休憩予定であったが、お天気が怪しく、木下さんの提案をうけ 30 分短縮してこの駅を発つ。お馴染みの 6 時 30 分から始まるラジオ体操をしている老人クラブの団体に会う。ラジオ体操している広場には、蒸気機関車があった。その前で記念写真を撮る。私の子供の頃は、夏休みになると毎朝近所の班長さん宅に出向きラジオ体操をした。証拠として班長さんに出席印を押してもらったものである。木下さんが心配したとおり、6 時半頃小雨に遭う。しかし、岡谷駅に着く頃には雨は上がっていた。7 時 45 分天気が回復し、日差しがさして来た。

とここで、9 時 16 分、本日東京から来る鶴巻さんと待ち合わせる必要があった。1 時間半程度どう過ごすか懸案であったが、福家さんと溝縁さんが案内板から神渡（みわた）醸造元の豊島屋（岡谷市本町：0266-23-1123）を見つけ、時間を有効に活用するために、この会社に交渉していただく。福家さんの熱心な交渉で、見学が許され豊島屋に移動する。店は工場のような感じであったが、酒蔵がちゃんとあった。宮坂さんという 30 歳台後半のすらっとした方（男性）が私達を出迎えてくれ、醸造現場に案内してもらい、酒の工程についてレクチャー頂く。今日は休みで、所用できたが直ぐ帰るとのことであった。忙しい時間を割いて都合していただいた。宮坂さんには、私達感謝の気持ちで一杯となった。（後日丁寧にもお礼状を頂く。）宮坂さんから次のような貴重な説明を頂いた。

- ① この工場は昭和 2 年に設立された。
- ② 日本酒は、焼酎やビール等におされている。これを打開するため、より近代的経営が望まれる。
- ③ 酒工程は次の 4 区分で醸造される。
  - ・米を洗い、蒸かす。
  - ・麴作業
  - ・酒の元を造る。
  - ・仕込み作業（酵母菌と麴菌の微生物で対応）
- ④米の切り方で酒の銘柄である純米（米 7 0 %位カット）、大吟醸（米 5 0 %位カット）が決まる。米の表面には脂肪があり、これは酒の原料には向かないため削る。
- ⑤酒造りは奥が深い。



左上：岡谷駅前 右上：上諏訪駅近郊 左下：諏訪湖湖畔 右下：片倉館温泉前

その後試食会とお土産購入に時間を費やし、この会社を 9 時 10 分位出、再度岡谷駅向かう。9 時 2 0 分、鶴巻さんと先にこの店を出た溝縁さんが駅前で私達を待っていてくれた。岡谷駅前で記念写真撮影後、1 0 Km 先の上諏訪駅を目指す。貝出さんと木下さんは足が疲れたとのことで、バスで移動し、1 1 時半北澤美術館の前で待ち合わせることにする。岡谷駅から諏訪湖に沿って、足に優しいピンク系の遊歩道が続いていた。途中、小口太郎の銅像（1 0 時）があった。1 1 時 2 0 分、SUWA ガラスの里の前に到着。このレストランで 1 時間位休憩。これまでのウォーキングについて話し合う。貝出さんと木下さんが

12時過ぎ来る。ここで、17時29分予定の帰りの時間を15時9分に早める。1時間休憩後、5Km先の上諏訪駅を目指す。諏訪湖の湖面は水草で汚れていた。「誰かボランチで湖面を綺麗にすれば」との思いがした。谷本さんがこの場面を見て「目に緑 諏訪湖……」の俳句を読む。遊覧船が上諏訪に向かっていた。13時55分上諏訪に到着。駅前で記念写真撮影後、森さん、谷本さん、坂本さん、大崎さんと分かれる。彼等は森さんの別荘で一泊するとのことである。片倉館温泉に入り、15時9分の高尾行きに乗る。上諏訪駅で電車の中で乾杯する酒・つまみを購入する。途中、小淵沢で快速にするか否か迷ったが、皆様の合意でこのまま普通列車で高尾駅まで向かうことにする。16時35分初狩（はつかり）駅で千葉北西部を震源とする5強の地震があったとのアナウンスがある。このため、高尾18時8分着予定が1時間40分遅れとなる。このため、新宿まで移動し反省会する予定を中止する。八王子駅で福家さん、桑島さん、鶴巻さん、藤本さん、貝出さんと別れ、町田駅で木下さん、宇賀神さんと別れる。最後に相模大野駅で溝縁さんと分かれ、自宅には21時25分到着。万歩計は41,157歩だった。地震というアクシデントがあったが、無事第18回のわいわい会が終了し充実した2日となった。



豊島屋

## 第2節 9月23日（土）：上諏訪～富士見

上諏訪(9:38)～茅野(11:45)～青柳(14:10)～すずらの里(15:00)～富士見(16:00)

平成18年9月23日（土）秋分の日、上諏訪（かみすわ）から甲府までの67.8kmに3回に分割して挑戦することにする。なお、このシリーズを終了すると、新宿から岡谷までの中央本線の200.1Kmの踏破が完成する。



4時に目覚まし時計をセットしたのにも関わらず、電池切れで機能せず5時過ぎの起床となる。そのため当初予定の電車（八王子6時35分発）の電車に乗ることができないと心配したが、昨夜の仕度が功を奏し何とか間に合う。南林間5時48分、町田6時6分の電車に乗り継ぎ、JR八王子駅には6時31分到着したからだ。朝は曇空であったが、段々と天気はよくなり薄曇となる。本日選定した電車は乗り継ぎが最少で普通電車と思えない程効率的に上諏訪まで行くことができた。特急電車との待ち合わせも少なかったのも一つの要因であろう。車中で上諏訪までの運賃（2,730円+210円）を精算する。八王子から甲府までの1時間半程度の時間を利用して、時々窓からの風景を見ながら、小さな挑戦シリーズの紀行文の校正を行なう。誤字脱字の他、形容詞や副詞が極力少なく感じたが、主語述語の関係はしっかりしていた。また、歩いた際の経過記録や印象的事項もそれなりに表現されており、歩いた日々を読み返し記憶に蘇ることができた。自分としては、第1稿としてはまあまあの紀行文のように思えた。それでも、原稿は赤字だらけとなる。



甲府から上諏訪は、電車の窓から JR 線に沿った道筋を観察する。稲の収穫期を迎え、農家は忙しいそうであった。甲府＝韮崎間と富士見＝上諏訪間は起伏が少なく、かつ鉄道に沿って国道 20 号線が走っており、歩きやすいと感じた。しかし、その他の区間では山が絡み、鉄道に沿った幹線道路がなく、営業距離に比べ相当遠回りが予測できる道筋であった。特に、小淵沢近郊が今回で最も難所になる感があった。茅野（ちの）から上諏訪の間で電車のスピードが遅くなる。原因はこの近郊は単線の箇所があるからか。上諏訪駅には 9 時 38 分到着。この駅は、昨年の上諏訪湖一周踏破に来て以来である。改めて駅舎が諏訪湖側の反対側にあることを再認識した。

道路の両側にアケードのある諏訪商店街と住宅街を通り抜ける。10 時前のため各商店街の店先では開店の準備をしていた。商店街のコンビニで APS フィルムを購入。10 時 5 分、縣社ハ劔神社前で本日のウォーキングの無事を祈願する。10 時 20 分、朝電車の窓から印象に残っていた長野県福祉大学校前を通過。隣の広場では 10 数名の若い女性が運動会のダンス演技の準備をしていた。10 時 25 分、歩いている幹線道路が単線箇所である赤羽根踏切を通過する。鉄道が右手側から左手側になる。10 時 40 分、諏訪中央自動車学校前を通過。国道 20 号線の道路標識には甲府 63Km、茅野 4 Km とあった。また、諏訪市四賀（しが）と書いた一里塚では東京まで 197Km とあった。11 時 5 分、諏訪市から茅野市となる。市境の標識には茅野市は標高 767m とあった。迷ったが、国道から白樺方面に分岐する道路を進む。この道が JR 線に沿った道であるからである。結果は OK。11 時 45 分、茅野駅に到着。上諏訪から茅野にかけて、平坦な町並みが続いていた。甲府近郊や秩父近郊の風景に似ていた。駅前では高速バス乗り場等があり乗客が沢山いた。駅前のたいこ焼本舗で信州手打ちそばを注文する。この店はラーメンやかき氷・餡蜜等の店であった。蕎麦もあったので自分が違う店に入っても気がつかなかった。実は蕎麦の専門店の隣のそば茶屋に入る予定であったが、トイレ休憩で駅商店街ビルに入ったため、入る箇所を見誤る。



20 分位休憩し、青柳駅を目指す。12 時 20 分、一級河川である上川（上川橋）を通過。万歩計で測定すると 134 歩（川幅 75m 位）であった。この橋を渡った道路標識には、右折方面として高遠まで 29Km とあった。12 時 30 分、茅野市立宮川小学校の看板前を通過。200m 先の坂を上ったところにあった。また、1Km 先に県立茅野高校の案内板もあった。

12時50分、空色の弓振川（川幅20m位）、宮川（酒室橋）を通過。茅野から富士見にかけて国道20号線とJR線がほぼ並行して走る。いつの間にか単線から複線となる。概ね鉄道が道路より下部分を走る。13時45分、茅野市金沢の場所で権現の森の記念碑前を通過。13時50分、再度宮川の絡む橋である金沢橋を通過。コンクリートのイメージが印象的な青柳駅には14時10分到着。駅は国道から200m位道路を離れ、下がったところにあった。駅前に沿って15m位の宮川（青柳橋）が流れていた。駅前には店は全くなく、自動販売機すらなかった。駅前から少し行った先（国道20号線沿い）に茅野市500年、尖石縄文まつり（10月7日（土）～8日（日））と書かれたポスターがあった。近くには直径30cm位の白ぼい幹をもつ紅葉と対面する。



14時35分、上諏訪市から富士見町（標高888m）に入る。ローソンが近くにあった。この近郊にて有線で録音した「いちご白書もう一度」をMDウォークマンで聞く。神戸八幡交差点に14時55分到着。この交差点を左折し、国道から400m位離れたすずらんの里駅に15時到着する。手前の宮川橋にはすずらんが橋手摺に記されていた。近くには赤・黄・桃色のコスモスが咲いていた。この駅近郊で「なごり雪」を聞く。



すずらんの里駅

富士見駅

15時40分、富士見峠交差点に到着。入笠山15Km、パノラマスキー場まで2.5Kmとあった。この近郊は冬雪が降るのか随所で凍結に注意の掲示板を見かける。富士見交差点

を 15 時 50 分到着。ここで左折し県道 190 号線を通る。川幅 5 m 位の乙貝川を通過し、富士見駅には 16 時到着。特急電車はタイムリーにあったが、運悪く普通電車は 16 時 53 分までなし。当初は 3.2Km 先の信濃境駅もしくは 7.9Km 崎の小淵沢駅を本日の終着駅に考えていたが、朝コースが複雑とダイヤの関係から多少早かったが、富士見駅でアップする。この時期 17 時を過ぎると暗くなり始める。山道は街灯も少なく危険が伴うので富士見止まりとした。待ち時間を利用して、駅前の観光センターで次回歩く富士見から小淵沢までの歩きコースを教えてもらう。予想したとおり、複雑な歩きコースであった。また、お腹が少し空いたため、駅前の丸政で立ち食い蕎麦を頬張る。16 時 53 分の小淵沢行きに乗り、甲府、高尾、八王子で乗り継いで自宅に向かう。自宅には 21 時 15 分到着。本日の営業距離は 19.0Km、万歩計は 44,414 歩だった。本日は山間にしてはアップダウンが少なく歩きやすかった。

### 第3節 10月28日（土）：富士見～日野春

富士見(9:20)～信濃境(10:50)～小淵沢(12:28)～長坂(15:00)～日野春(16:32)

富士見からの続きは、2006年10月28日（土）晴の中実施。第8回高校同窓会の準備の関係で1ヶ月余り挑戦が遅れる。前回と同じく、南林間5時49分、町田6時6分、八王子6時35分の電車で富士見駅まで移動する。八王子に着くや否や6両編成である始発の松本行きが入場して来る。隣のホームには大宮行きのホリデー号が待機していた。この電車は普通電車であっても乗り継ぐことなく富士見まで行けるので快適であった。八王子か甲府までは居眠り眼で車中を過ごす。甲府から特に穴山辺りから鉄道に沿った適切な幹線道路等があるか否かを探す。富士見に向かって鉄道の右側に道路が広がっていた。山々は紅葉が始まっていた。小淵沢近郊は迷子になる感じであった。多少不安となるが、これまで歩いた経験では難しいと思ったコースが意外にやさしい場合もあった。本日も例外を望むところである。



9時20分、富士見駅に到着。八王子からの乗車料金として2,520円（帰りは2,210円）要す。駅前は富士見高原関連の観光案内があった。鉄道の右側を歩き信濃境を目指す。9時

55分、上りと下りの線路が150m位離れている立場大橋に差し掛かる。下り3両列車が30m位頭上の橋桁線路を通過して行く。この近郊は谷になっており100m位の橋桁がある。紅葉が綺麗であった。鉄道につたい歩きが暫く続き、小淵沢方面と信濃境方面の分岐点に差し掛かる。小淵沢方面は鉄道に沿い、信濃境方面の道は鉄道に対し直角になるので多少不安ではあったが道路の標識に沿って進む。途中で鉄道が見えず不安になって引き返そうとも考えたが辺りには人がまったくなし。やっと軽トラックに乗った農家の人に聞いて今歩いている道が正しいことを確認できた。10時45分、電車富士見町立南中学校前で下り電車の通過がありほっとする。この近郊は鉄道が相当蛇行していた。前回無理して進んでいたら迷子になっただろう。夜の山道は怖いものがある。10時50分、信濃境に到着。前回富士見駅前の観光センターで小淵沢への道筋を聞いたが、国道20号を經由してのコースで相当遠回りの道順であった。それで、もしかするとわかりやすく、鉄道に沿った近道があるのではないかと思い、駅の駅員に小淵沢方面の道筋を聞く。小淵沢には鉄道に沿った道があるような旨の回答があった。それで、前回観光センターでもらった資料を白紙にして挑戦することにする。30分位鉄道に沿って右側を歩く。11時20分、県道17号線（富士見町先達＝茅野北杜葎崎線）に合流する。この近郊で道路下にあるJR線を越えた。



11時40分、先達甲六公園に到着。ここから長野県から山梨県小淵沢町となる。小淵沢町は北杜市に合併したのであろうか。11時50分、頭上の線路を上り電車が通過して行く。再度鉄道の右側となる。この辺りから道路の名称が七里岩ラインとなる。12時10分、菅原道真（みちざね）公をお祭りしている北野天神社（小淵沢高原）に、来年6月に生れてくる孫の安産を遠くから祈願する。道路を挟んで目と鼻の先に独立行政法人農業生物資源研究所があった。



12時28分、小淵沢駅に到着。駅前には土産屋や観光センターがあった。観光センターで長坂への道筋を聞く。鉄道の右側と左側を歩くコースがあるとのこと。左側が分かりやすいとのことなのでこのコースを歩くことにする。10Kmあるとのこと。その前に駅前のレストハウスよしので昼食を摂る。20分位休憩し、長坂に向かう。地名の通り、長い坂が続く。1時間位は下り坂、後は上り坂が中心となる。13時30分小淵沢町上笹尾、13時50分松向を通過。14時50分、鉄道を潜る。右は日野春駅、左上り坂方面に長坂駅があった。10分位引き返し長坂駅を目指す。15時水車が印象的な長坂駅に到着。甲斐ゼミナールがあった。また、北杜市役所もあった。10分再度引き返し日野春駅を目指す。七里岩ラインにある15時16分ローソン（山梨長坂町店：上坂上条）でアイスを購入。15時50分日野春小学校前（長坂下条）を通過。この近郊の空には飛行機が描いた線が頭上にあった。16時15分、北杜（ほくと）高校前交差点を通過。日野春跨線橋を越え鉄道の左側になる。橋を渡ると国蝶「オオムラサキ」の里の垂れ幕があった。16時32分日野春駅に到着。16時39分の塩山行きに乗り自宅へ。竜王、塩山、四方津（しおつ）で特急の待ち合わせがあった。自宅には20時37分到着。本日の営業距離は22.8Km、万歩計は49,949歩であった。本日上諏訪から甲府までの踏破の目処がたつ。本日は思ったより易しいコースであった。紅葉もそろそろ見頃の中いいい汗をかくことができた。



#### 第4節 11月3日（金）：岡谷～松本 （塩尻～松本：篠ノ井線）

2006年11月3日（金）から11月5日（日）までの3連休を利用して、新宿から松本まで225.1Kmある中央本線の踏破を仕上げる。

岡谷(9:47)～みどり湖(13:15)～塩尻(14:12)



1日目は11月3日(金)、岡谷=松本間の25Kmに挑戦する。何時もの通り、南林間5時49分、町田6時6分、八王子6時35分の電車で移動し、岡谷には9時47分到着。町田から岡谷まで3,260円要す。岡谷は昨年7月の諏訪湖一周以来の訪問であるが、岡谷駅に着くや否や方向を誤って、諏訪湖に沿った川岸・辰野方面に進む。リカバリーに30分位要す。10時16分、真言宗縁の照光寺前を通過。10時58分、国道20号線に出る。交差点には、すかいらく岡谷インター店(岡谷市今井)があった。左は長野・松本方面、右は東京・諏訪方面の看板があり。これから塩尻峠越えである。11時3分、松本まで28Km、塩尻まで14Kmの看板を見つける。11時20分、岡谷塩嶺病院前を通過。11時55分、標高1,012mの塩尻峠に到達。塩尻峠ではスピード違反の取締りをしていた。12時10分、100m位のブルーの東山橋を通過。



塩尻峠

12時45分、みどり湖方面の道路標識を見て国道20号線から一般道に入る。塩尻の町並みが高台から見える。数人に聞いてやっと13時15分みどり湖駅に到着できた。みどり湖も丘の下の方に見える。丘を1Km位下った先にあった。この駅は道路から10m位下がったところにホームがあった。また、トンネルから出て直ぐのところに駅があった。複線ではあったが、無論無人駅であった。最近できた駅であろう。この駅は人に聞かずにはクリ

アできないだろう。この駅に着くや否や小淵沢行きの電車が来る。



みどり湖駅

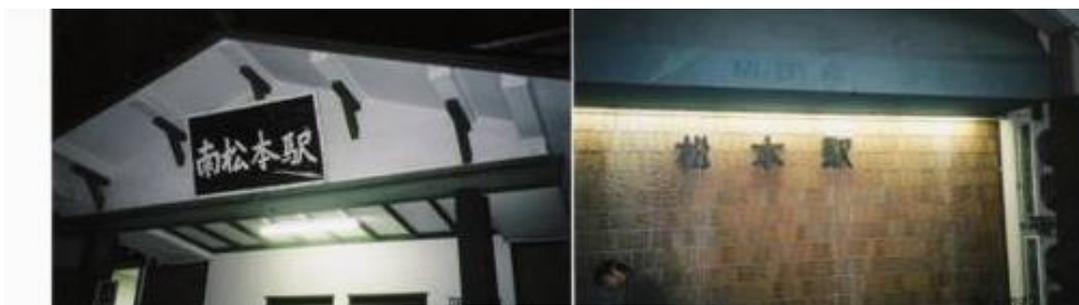
ここからは松本まで平坦な道であった。主に県道 19 号線を進む。鉄道に沿って道路（右側）が続く。13 時 45 分、田川（砂田橋）を通過。13 時 50 分、鉄道を潜り右側に出る。塩尻駅には 14 時 12 分到着。駅舎は茶色が印象的であった。昼にしようと 2 軒の店に立ち寄るが生憎準備中であった。駅前には塩尻ステーションホテルやビジネスホテルがあった。



塩尻駅

村井駅

14 時 40 分、遅い昼食を摩天楼という中華の店で摂る。15 時 40 分、広丘の駅を探そうと思ひ袋小路に入る。結局、広丘と言う地名は見つけるが、広丘駅は踏破できず。16 時 30 分、神明宮前を通過。その近くに村井番所跡を見つける。村井駅には 16 時 35 分到着。17 時 5 分、やっと松本市の言う地名の松本市芳町に到着。17 時 30 分、暗闇の中で JR 線を越える。17 時 55 分、南松本駅に到着。松本駅には 18 時 45 分到着。東横インには 19 時 7 分到着。東の空に十三夜の月を見る。本日の万歩計は 54,350 歩だった。



南松本駅

松本駅

## 第5節 11月4日(土)：日野春～甲府

日野春(9:10)～穴山(10:43)～新府～韮崎(12:45)～塩崎(14:20)～竜王(15:40)  
～甲府(17:30)

2日目は、2006年11月4日(土)、日野春＝甲府間の26Kmに挑戦。風邪と食中りで体調不良のなかで実施。朝7時東横インで朝食を摂り、7時39分の甲府行きに乗る。松本駅では懐かしいアナウンス「まつもと・まつもと」があった。松本駅を踏破して、今後のウォーキングに新たな展開ができた。長野方面や飯田線更には塩尻から名古屋方面への希望ができた。大きな収穫であった。松本行きの電車は主として3両編成で空色と白の電車であった。甲府から韮崎までの電車(紺と肌色)と異なっていた。



東横イン

朝の松本駅

日野春には9時10分到着。松本から日野春まで1,280円要す。松本からみどり湖までは晴れていたが、岡谷のトンネルを越えると曇り空となる。しかし、寒天の里である茅野駅に着く頃には晴となる。本日も七里岩ラインを進む。9時25分、須玉町に到達。10時25分、鉄道を頭上にする。穴山駅まで0.8Km、坂井遺跡まで4.5Km、新府城址まで2.9Km、新府桃源郷まで2.0Kmの看板があった。山小屋風で穴熊風の穴山駅には10時43分到着。



穴山駅

駅前には穴山氏の系図があった。穴山梅雪は信玄の娘婿(勝頼の妹)とあった。道路上にはかつての穴山氏の居城の能見城跡があった。11時5分、中田町中条上野を通過し、史跡新府城跡前を11時25分通過。いつの間にかJR線が右側から左となる。この近郊に光明

寺があった。下り特急電車が通過して行く。



残念ながら新府駅をクリアできず。体調が不良のため注意が散漫となる。山を下り、12時蕪崎中央公園前を、12時10分民俗資料館看板前を通過。12時45分、道路に沿ってある蕪崎駅に到着。駅前で PANISH の手作りパン屋でパンを購入して、小春日和の駅前のベンチで食べる。しかし、体調不良のため食欲なし。13時5分通開運の鳥居を潜る。



蕪崎駅 通開運

ここから、甲府までの 12.9Km は特に辛かった。途中で止めたいという気持ちに何度もなる。13時40分、塩川橋（塩川）を通過。甲信には塩はなかったらしいが、塩のつく地名は多々ある。塩崎、塩山、塩尻。14時6分双葉西小学校前を通過。やっとのことで14時20分、無人駅の塩崎駅を踏破。竜王駅への途中、国道20号を通り、途中から国道52号線



塩崎駅 竜王駅への路

に入る。山道で大変だった。15時40分、やっとのことで竜王駅に到着。16時10分、甲府

市に入る。16時55分、貢川で東の空に十四夜月を見る。50m離れて荒川橋（荒川）を通過。ここから甲府駅まで非常に遠かった。甲府駅には17時30分到着。18時8分の高尾行きに乗り自宅へ。自宅には21時10分到着。甲府から町田まで1,890円要す。結局ホテル代を含め、12,520円要す。しかし、収穫のある二日間であった。万歩計は49,745歩であった。本日ももち、新宿＝松本間の225.1Kmを踏破する。



竜王駅

甲府駅